様式第8号(規格 A4)(第8条関係)

景観計画適合チェックシート

(開発行為・土地の形質の変更用)

| 景観形成基準 | チェック欄 |
| --- | --- |
| 適用する景 | 基準の内容 |
| 生活 | みどり | うるおい | 歴史 |
| ● | ● |  |  | 既存の地形の改変は最小限に留めるよう努めること。 | □はい　□いいえ□該当なし |
| ● | ● |  |  | 大規模な法面及び擁壁を生じないようにし、やむを得ない場合は、緩やかな勾配とし、積極的な緑化に努めること。 | □はい　□いいえ□該当なし |
| ● | ● |  |  | 擁壁は、周辺景観との調和に配慮し、前面の緑化、遮蔽樹林等による影響の軽減を行うこと。 | □はい　□いいえ□該当なし |
| ● | ● |  |  | 敷地内にある良好な樹林、樹木、河川、水辺等を保全し、従前の近接性を保つとともに、積極的に活用すること。 | □はい　□いいえ□該当なし |
| ● | ● |  |  | 周辺の道路等からの遮蔽に配慮した敷地周囲の緑化に努めること。 | □はい　□いいえ□該当なし |
| ● | ● |  |  | 掘採又は採取後の法面等は、周辺景観との調和に配慮し、積極的な緑化に努めること。 | □はい　□いいえ□該当なし |
|  |  | ● |  | 水辺に面する部分にオープンスペースを設けたり、緑化したりするなど、水辺に配慮した魅力的な空間づくりを行うよう努めること。 | □はい　□いいえ□該当なし |
|  |  | ● |  | 河川、湖沼など、水辺に面する敷地においては、自然景観の季節の移り変わりを考慮し、木材、石材などの自然素材色と共通する色調を基調とするなど、配慮すること。 | □はい　□いいえ□該当なし |
|  |  |  | ● | 歴史的景観の保全に配慮した配置とすること。 | □はい　□いいえ□該当なし |
|  |  |  | ● | 歴史的景観を阻害しないよう、周辺と調和した高さとすること。 | □はい　□いいえ□該当なし |
|  |  |  | ● | 歴史的景観を阻害しないよう、建物及び工作物の形態、意匠及び色彩に配慮すること。 | □はい　□いいえ□該当なし |
| (具体的な配慮事項・配慮できない理由) | ※　(指導事項) |